

# Notifauth

## 実験操作マニュアル

Satoru Takanami

AZ-Lab UEC

# 研究内容

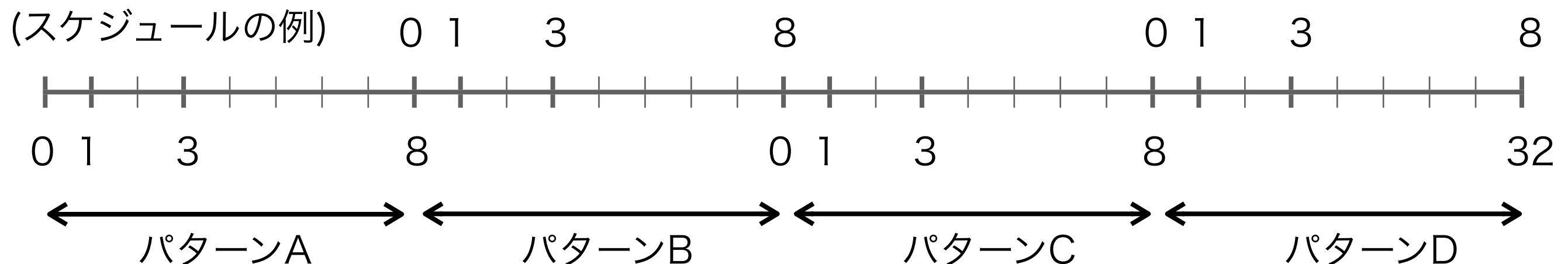
- Twitterの投稿は自分が能動的に行ったもの
  - 無意味な文字の羅列よりも覚えやすいのでは？
    - ✓ Twitterの情報をパスワードの代わりに利用
- SNSの情報はどんどん新しいものが追加されていく
  - 「条件」さえ設定すれば自動でパスワードが変わる認証が作れるのでは？
    - ✓ 実際に2種類の条件で絞り込める認証システムを作成
- ♦ 今回の実験は以上のものが本当に覚えやすく使いやすいかを確かめるものです

# 実験の流れ

1. 条件/パスコードを設定
2. 直後に1回目のテスト
3. 1日後、3日後、8日後にテスト
4. 1~3を繰り返し他のパターンを試す

# 実験のスケジュール

- ・ 被験者の方が何サイクル目にどのパターンを実験するかはアプリケーションインストール時にランダムで決められます
- ・ 8日目が終わったその日に新しいパターンを設定し、一度認証してもらいます



# 各パターン詳細

## A. Auto Mode Type Term

- ・ ○日/週/月/年から△日~年間を指定し、その範囲に当てはまるツイートが鍵

## B. Auto Mode Type Cycle

- ・ ○曜日の△時という条件に当てはまるツイートが鍵

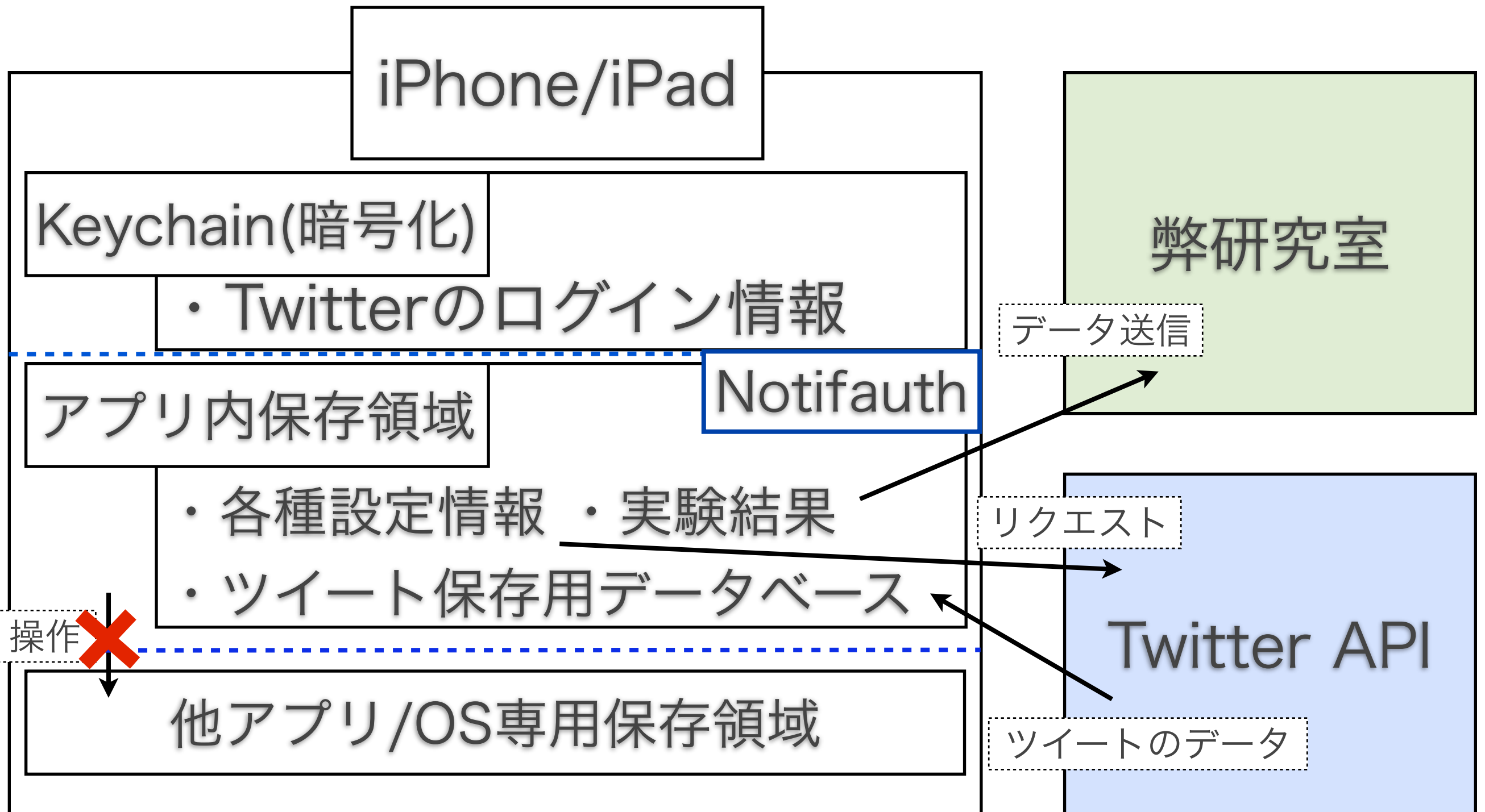
## C. Manual Mode

- ・ 自分のツイートから任意に1つ鍵を選ぶ

## D. PIN Mode

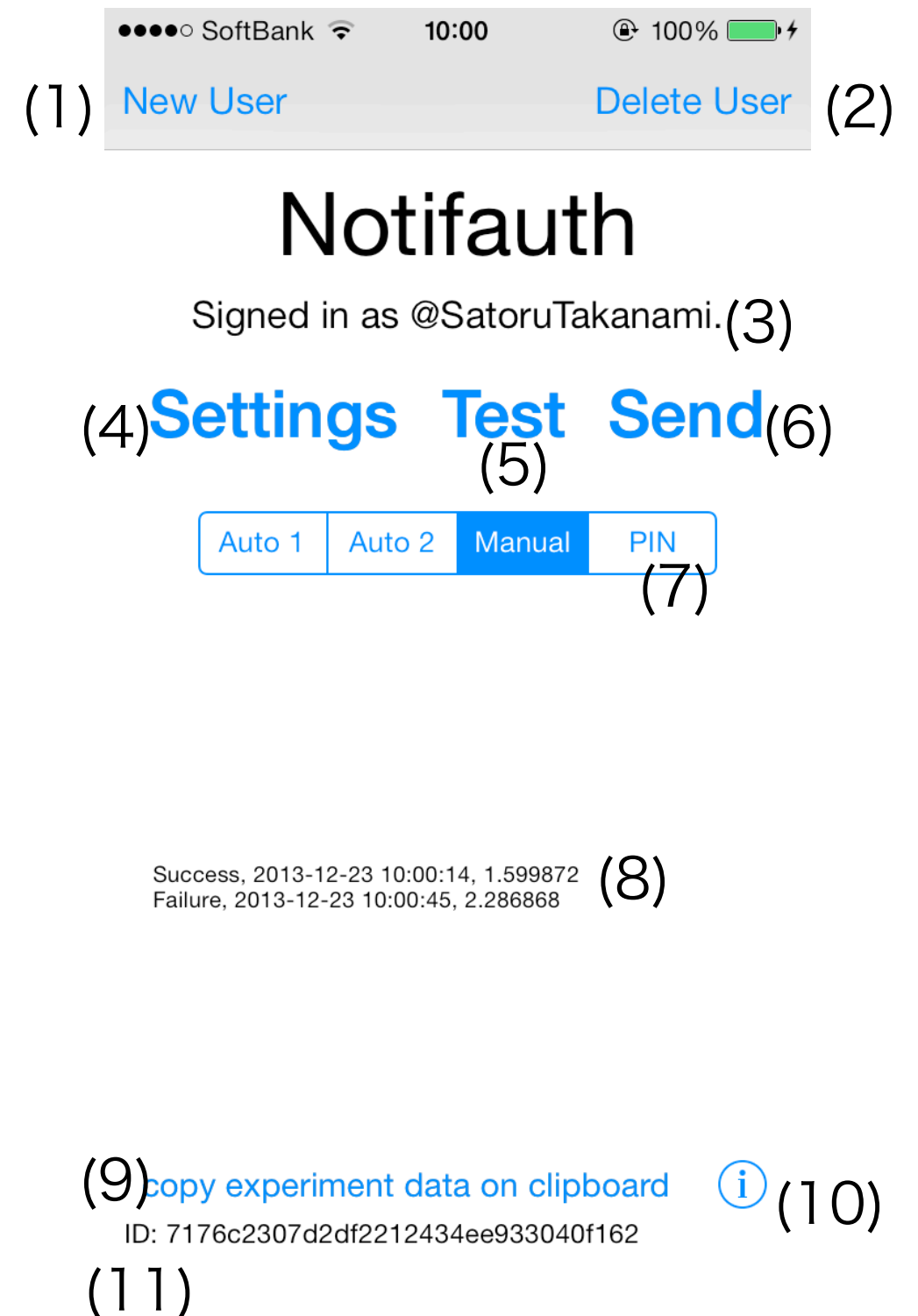
- ・ 通常のパスコードを一桁増やしたもの

# 概略図



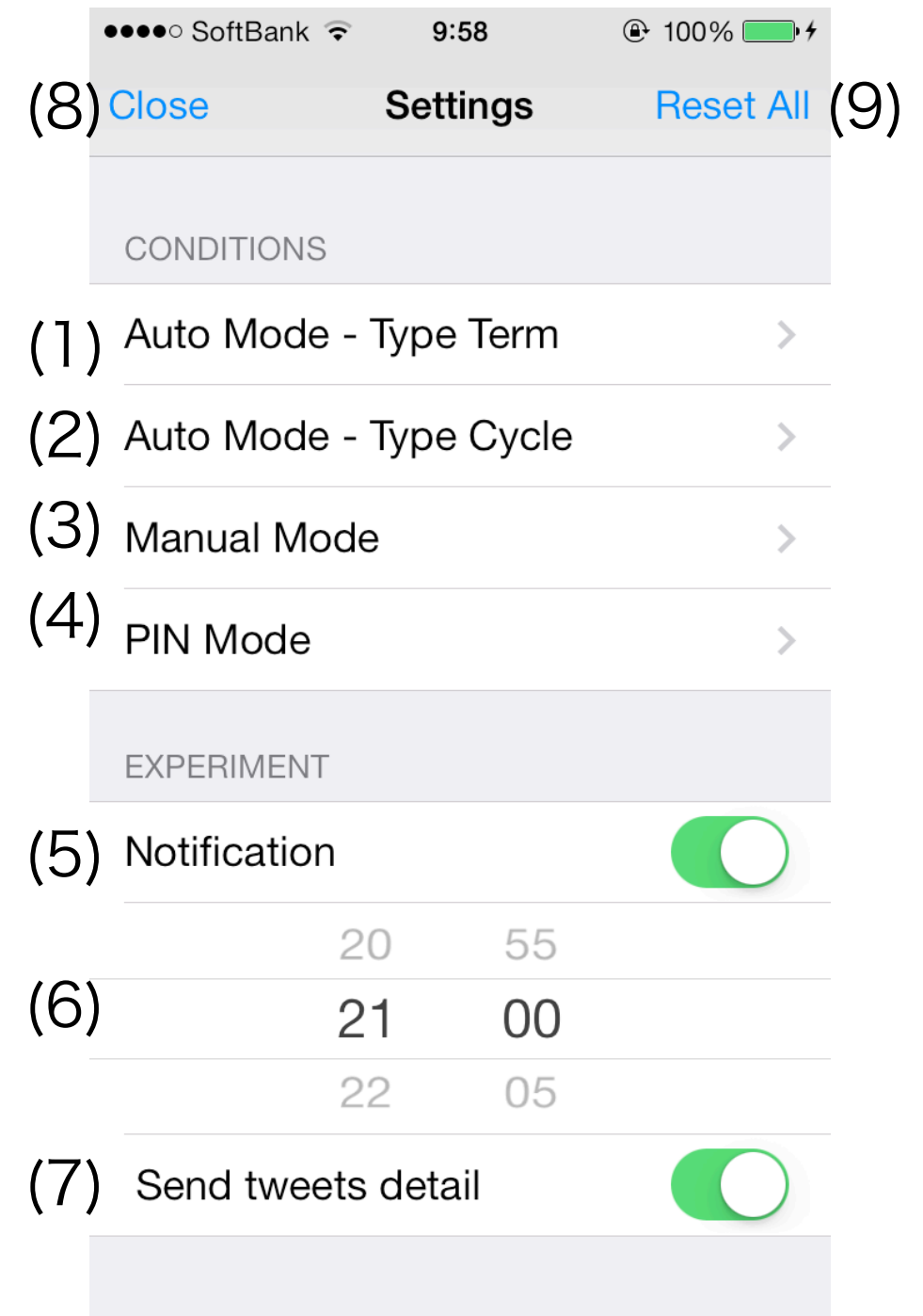
# メイン画面

- (1) 新規ユーザー追加
- (2) ユーザー消去
- (3) 使用しているアカウント名
- (4) 設定画面へ
- (5) テスト開始
- (6) 実験データ送信(Mail)
- (7) テスト種別の選択
- (8) 直近のテスト結果を表示
- (9) 実験結果をクリップボードにコピー
- (10) アプリケーション情報へ
- (11) 被験者ID



# 設定画面

- (1) 自動モード(期間を設定)
- (2) 自動モード(時間+曜日を設定)
- (3) 手動モード
- (4) パスコードを1桁増やすモード
- (5) 通知のON/OFF
- (6) 通知する時間の設定
- (7) ツイートの内容(本文,日時)を収集するかどうか
- (8) 設定画面を閉じる
- (9) Conditionsの設定情報をリセットする





# 新規ユーザー追加

- 画面の表示に従ってTwitterのIDとパスワードを入力して下さい。
- ここでのログイン情報はこちらでは一切視認/保管しません
- メイン画面の(2)を押せば全てのログイン/ツイート/設定データが消えます
- 更にご心配の場合はtwitter.com上から”このアプリケーションを許可しない”設定にして下さい(実験終了後)



# 自動モード[期間] 設定画面

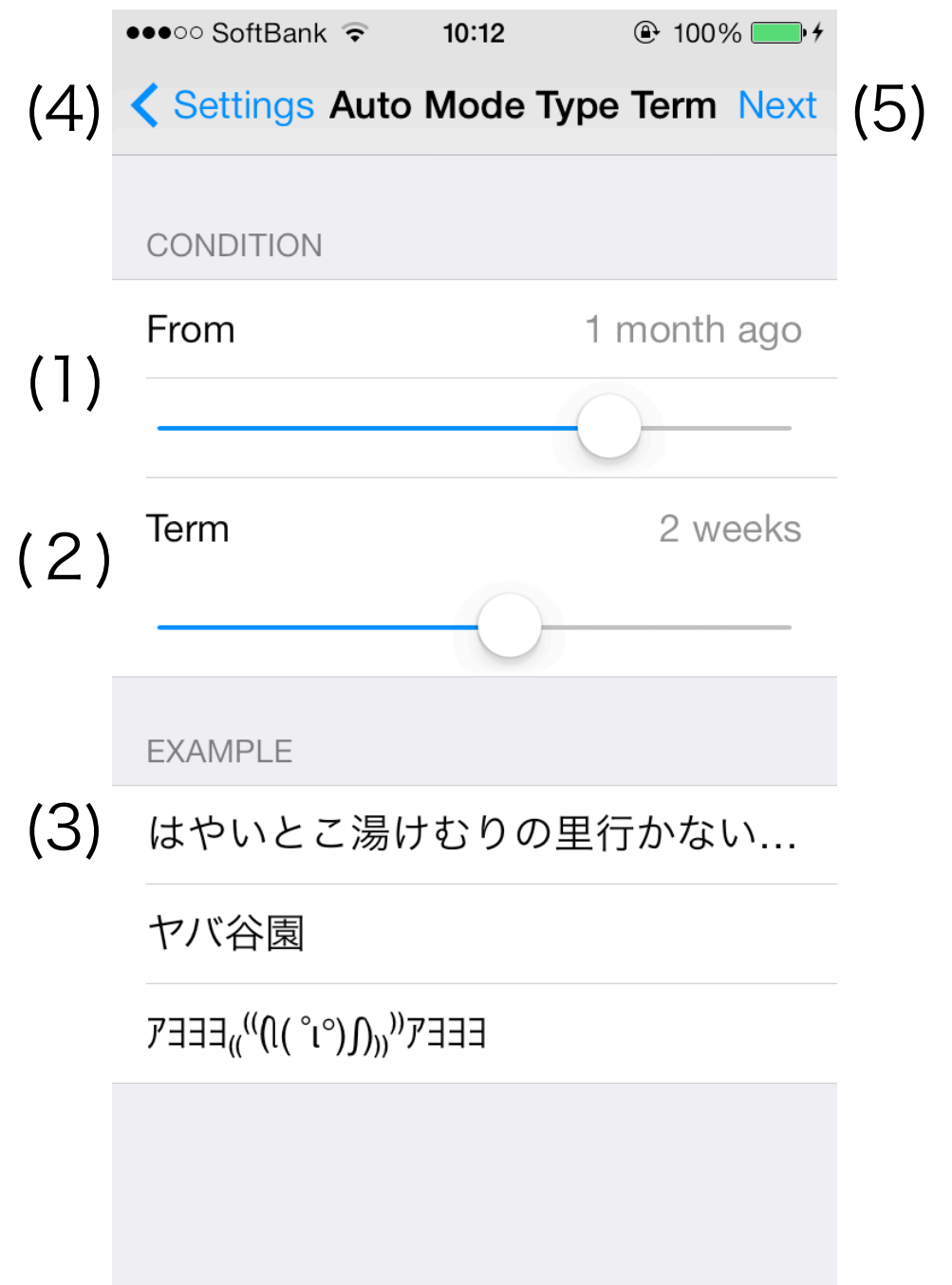
(1) どのくらい前かを設定します

(2) (1)からどのくらいの期間かを設定します

(3) 鍵となりうるツイートの例を表示します(上は最も古いもの、下は最も新しいもの)

(4) 戻ります(保存されません)

(5) 次へ進みます



# 自動モード[周期] 設定画面

(1) 何時かを設定します

(2) 曜日を設定します

(3) 鍵となりうるツイートの例を表示します(上は最も古いもの、下は最も新しいもの)

(4) ツイートが多い時間帯/曜日を提示します(タップでそれに設定を合わせる)

(5) 戻ります(保存されません)

(6) 次へ進みます

(5)  (6)

(1)

(2)

(3)

(4)

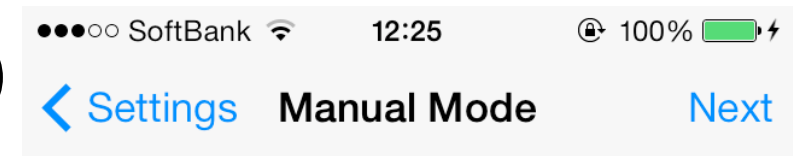
# 手動モード設定画面

(1) 約200件表示されている自分のツイートの中から一つを選びます

(2) 戻ります(保存されません)

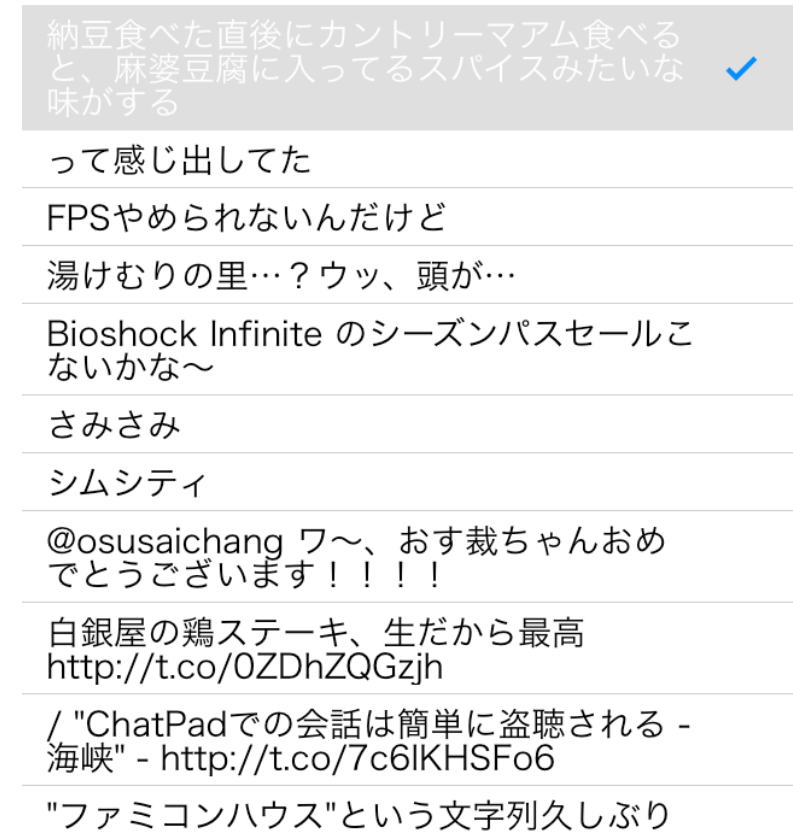
(3) 次へ進みます

(2)



(3)

(1)



# PIN/PINモード

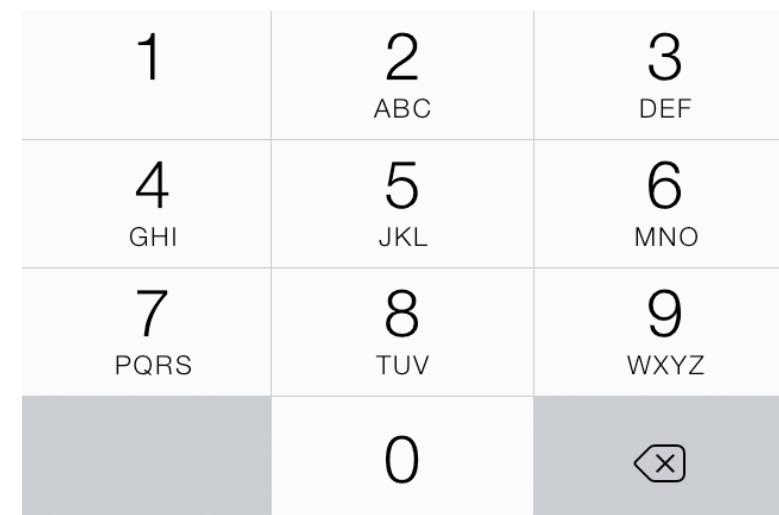
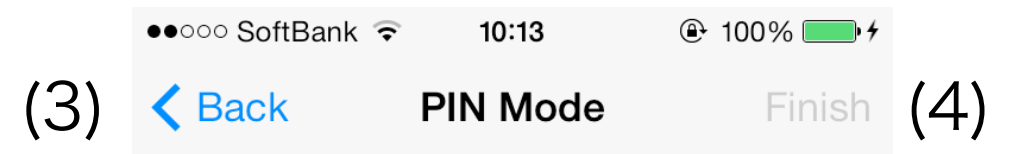
## 設定画面

(1) パスコードを入力します(自動/手動は4桁、PINモードは5桁)

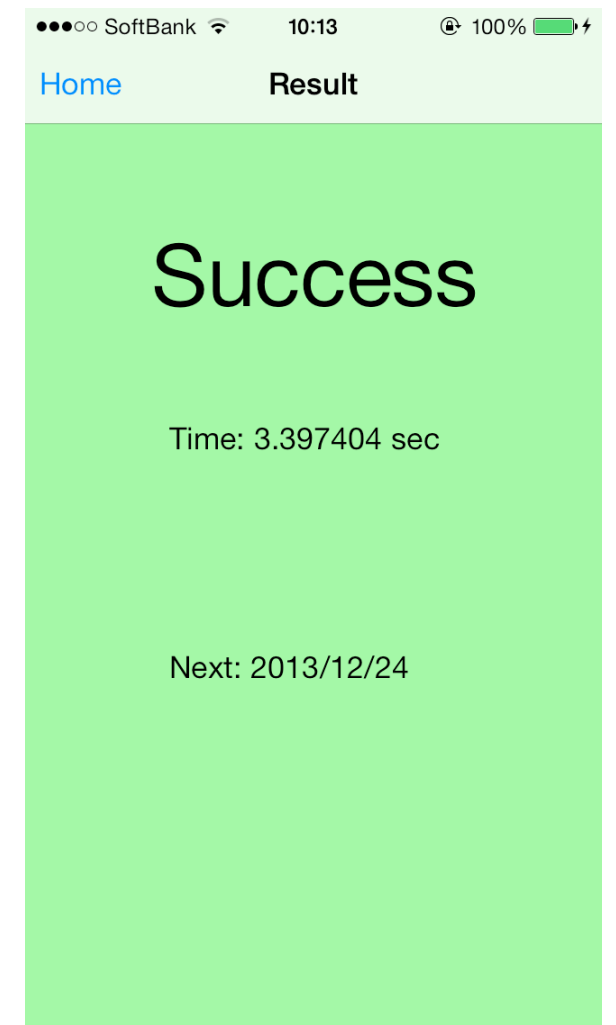
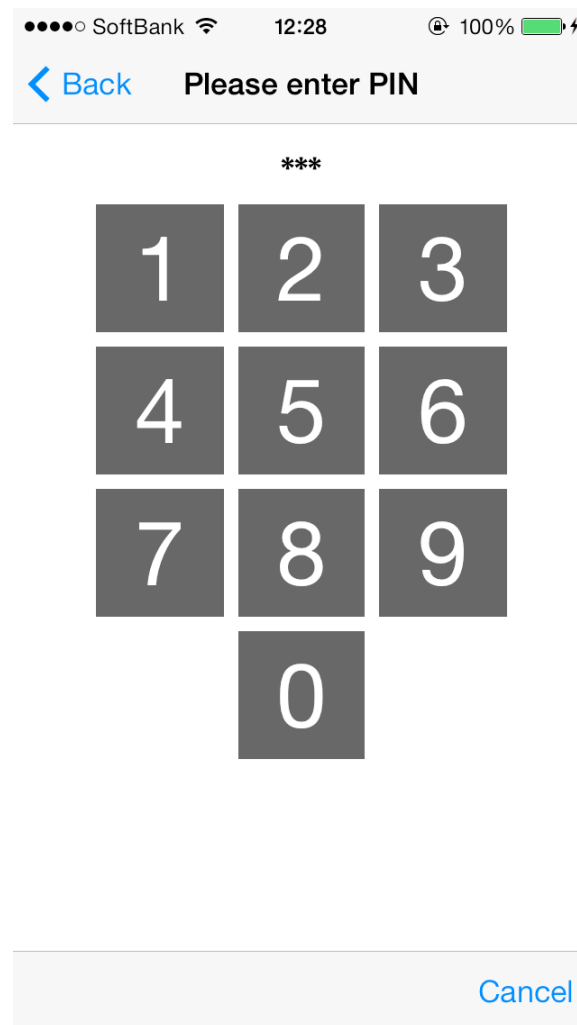
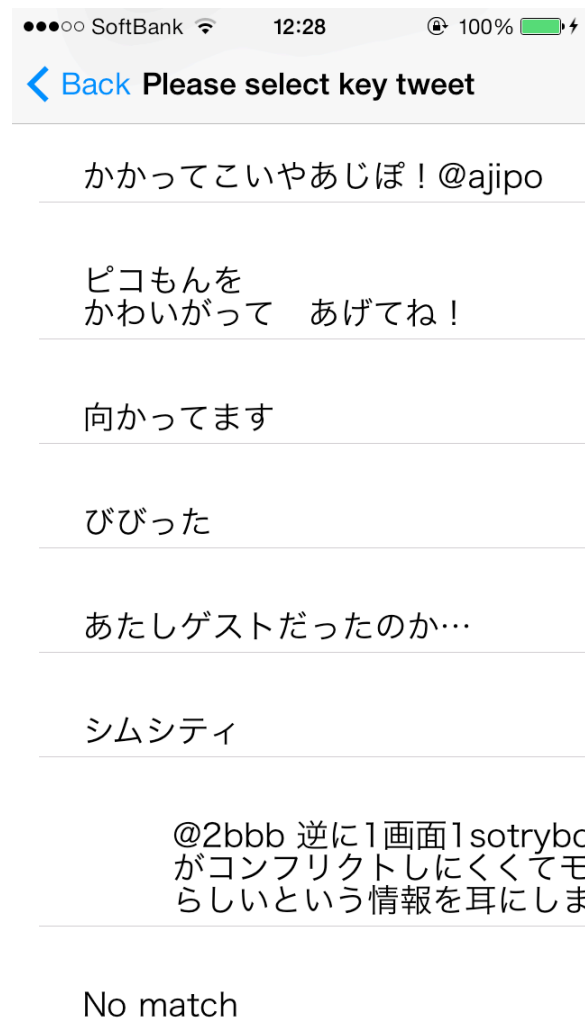
(2) 同じパスコードをもう一度入力します(確認のため)

(3) 戻ります(保存されません)

(4) 次へ進みます

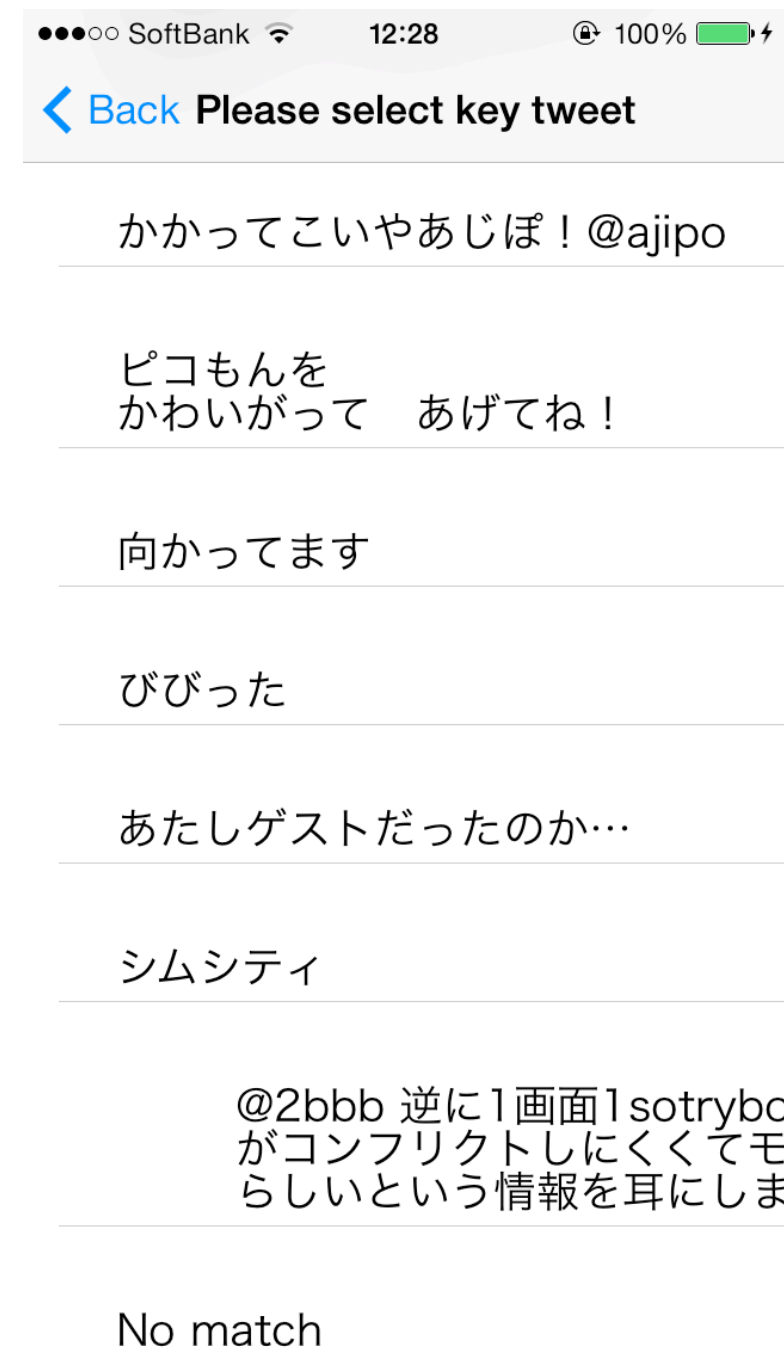


# 実験画面



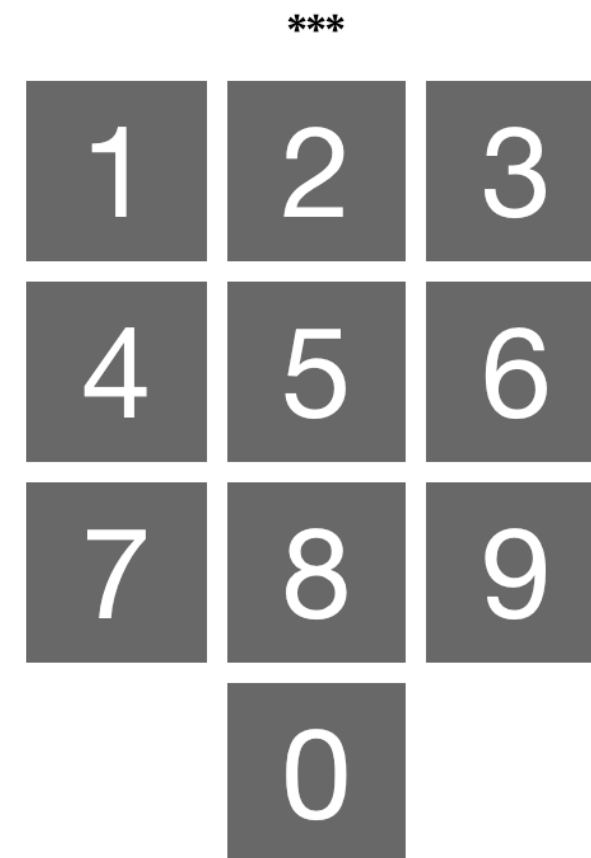
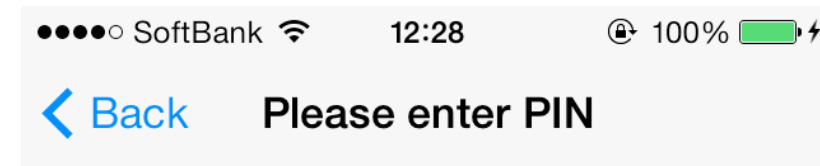
# 実験[ツイート選択]

- iOSロック時の通知画面のように該当のツイートをスライドします
- 当てはまらない場合は「No match」を選択してください



# 実験[パスコード入力]

- iOSロック時のパスコード入力画面のように入れます
- タイプミスなどでやり直す場合はBackで戻り、ツイートの選択部分からとなります

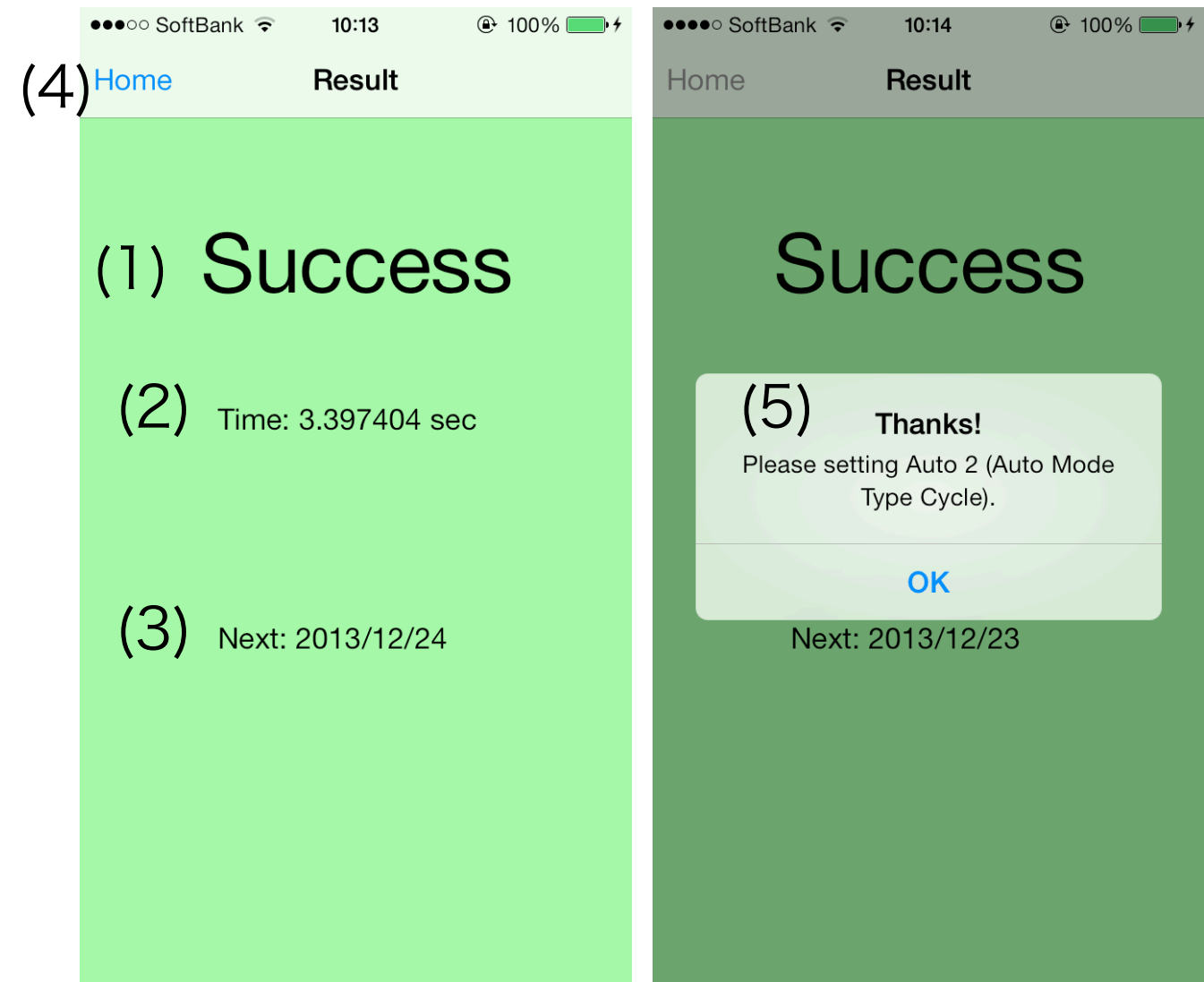


Cancel



# 実験[結果画面]

- (1) 結果が表示されます
- (2) 実験にかかった時間が表示されます
- (3) 次の実験日が表示されます
- (4) メイン画面に戻ります
- (5) 1サイクルが終わった時は右図のように次の実験パターンの指示が表示されます



# データの送信について

- メイン画面の(6)を押すとメール作成画面が開くのでそのまま送信して下さい
- もしiOS標準メールを使えない場合は、同画面(9)を押すとクリップボードにコピーされるので、他のメールアプリの本文部分に貼り付けして [satorutakanami@gmail.com](mailto:satorutakanami@gmail.com) まで送信して下さい(その際できるだけお名前を添えて下さい)
- 送信のタイミングですが、毎回認証を終える毎でもよいですし、1サイクル終わった毎、気が向いた時でも構いません
- ただし、2サイクル目が終わった段階で簡単なアンケートをとりたいのでその時は皆様送信をお願いします